

南大沢4丁目15番地自治会

B2 区分

事業名 こども食堂 in 都営団地

事業概要

- 共働き世帯や一人親世帯が増えるなか、地域で支え合い子供たちを見守ることを目的として、団地集会所で「良い子食堂」を初めて実施。
- 子供だけでなく、孤食の高齢者にも参加を呼びかけ、令和3年6月に2回実施。

実施期間 令和3年4月11日～6月27日
 参加人数 子供12名、保護者・高齢者 24名(2回計36名)
 事業総額 約20万2,800円
 (地域の底力発展事業助成金 19万5,000円)

役割分担

《調理(7～8名)》

自治会員で元フレンチ料理のシェフがリーダーとなり献立を決定。実施の数日前から食材の準備、仕込みを進める。

《チラシの制作・配布(8名)》

チラシを制作し、手分けをして南大沢4丁目団地の全戸に配布

《当日の配膳・来場者の誘導など(7～8名)》

コロナ感染症対策に配慮しながら、来場者を誘導。配膳や片付けなどを担当

実施までの主な流れ

令和3年
 4月11日 初回打ち合わせを実施。協力者も含め役割分担を決める。
 4月18日 提供献立・配布チラシを決定
 5月28日 南大沢4丁目団地全戸にチラシを配布
 6月4日 調理の下準備(買い出しは数日前から)
 6月5日 1回目「良い子食堂」を実施
 6月18日 調理の下準備
 6月19日 2回目「良い子食堂」を実施
 6月27日 反省会

主な経費(助成対象)

- 物品購入費
 冷凍ストッカー、ガスコンロ、寸胴なべ(2個)、フライパン、炊飯器、調理小物・食器類、食材費、LPガス・容器・調整器・2口コック
- 印刷経費
 配布用チラシ(300枚)



調理例(試作)

● 献立

令和3年
 第1回 6月5日(土) 午後5～6時
 オムライス(小松菜のお浸しとお吸い物付き)
 第2回 6月19日(土) 午後5～6時
 スパゲティナポリタン(ソーセージと果物付き)

事業の実施内容

● こども食堂 in 都営団地 「良い子食堂」

実施場所 南大沢4丁目団地集会所

開催日 令和3年6月5日、6月19日

自治会の「こども会」活動の一環として、令和3年6月に毎回約20食を用意し、2回実施。

料理は食材を数日前から調達し、ミートソースやデザートなどの仕込みを進めた。小学生、中学生には無料で提供し、高校生以上は300円。幼児は保護者の参加を条件とし、一人暮らしの高齢者にも参加を呼びかけた。

元フランス料理シェフが皆の前でプロの腕前を見せ、子供たちからも歓声が上がった。高齢者の参加もあり、世代間交流の場にもなった。

会場となった集会室には、大型空気清浄機が用意され、当日は入り口に非接触型体温計、アルコール消毒液、除菌シートを置いて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した。



「良い子食堂」の呼び名は、「南大沢4丁目15番地自治会」の「4」と「15」に由来。高齢者も参加し、世代間交流の場にもなった。

事業による成果・効果

子供を見守る地域の支え合い活動として発展

自治会では、こども食堂の運営に手応えを得たことから、その後も八王子市をはじめ、フードバンク団体や宅配ピザ、外食チェーン店などの協力を得て活動を継続。令和4年度には「良い子食堂」を毎月2～3回実施するまでになっている。

団地内外で評判が広がったことから、調理や会場の手伝をする人たちが自然発生的に増加。さらに、保護者やスタッフの口コミにより、町会の区域外から訪れる親子やスタッフもあり、町会の枠を超えた子供の見守り活動となっている。



令和4年10月30日(日曜日)に集会所テラスで開催した良い子食堂「ハロウィンお楽しみバーベキュー大会」

事業を振り返って

協力者を増やし活動の充実を

「子供たちが姿を見せることで、支援が必要な一人親世帯がいることが分かり、活動の重要性を実感しました」と自治会会長代行の柳澤重男さん。「協力者が増えるたびに、活動の幅が広がります」と話す。インターネットで必要な食材などを提供してくれる団体・企業を見つけることが得意な会員や、団地のベランダで収穫したミニトマトを差し入れてくれる人が現れるなど、活動の輪は今も広がり続けている。



南大沢4丁目15番地自治会会長代行の柳澤重男さんと、スタッフの田地野京子さん